

第13回日本食品免疫学会 学術大会(JAFI 2017)

「ポストゲノム時代の食品免疫学」

- 大会長: 高垣 洋太郎 (日本薬科大学)
- 日 時: 平成29年11月9日 (木) ~ 10日 (金)
- 場 所: 伊藤謝恩ホール (東京大学本郷キャンパス内)

● 11月9日(木)

- 開会の辞
- 一般演題 ショートプレゼンテーション
～ 昼食 ～
- 第13回定例総会
- 一般演題 ポスター討論
- シンポジウム1 「ポストゲノム時代の健康科学」

「ポストゲノム時代の健康科学: 活性レトロポゾンの関与」	高垣 洋太郎 (日本薬科大学)
「環境ストレス活性型レトロポゾンの適応進化と健康科学」	伊藤 秀臣 (北海道大学)
「食品成分由来の発がん物質ヘテロサイクリックアミンのレトロランスポジション誘導機構」	奥平 准之 (明海大学)
「加齢に伴う免疫崩壊とレトロポゾン」	大森 深雪 (東京女子医科大学)

- 懇親会

● 11月10日(金)

- シンポジウム2 「食における調節因子 -microRNA-」

「乳中に含まれるマイクロRNAの特徴と機能」	和泉 裕久 (森永乳業(株))
「牛乳由来エクソソームによる小児アレルギー性疾患制御」	田中 祥子 (東京薬科大学)
「植物ポリフェノールの機能性発現におけるmicroRNAの関与」	立花 宏文 (九州大学)
「エクソソーム機能研究の最前線 - シグナル伝達からがん、免疫、神経疾患との関わり」	落谷 孝広 (国立がん研究センター)

- ポスター賞授与式 学会賞授賞式・受賞講演
～ 昼食 ～

- 特別講演 「DOHaD説とNutriepigenomicsから次世代の健康を考える」 福岡 秀興 (早稲田大学)

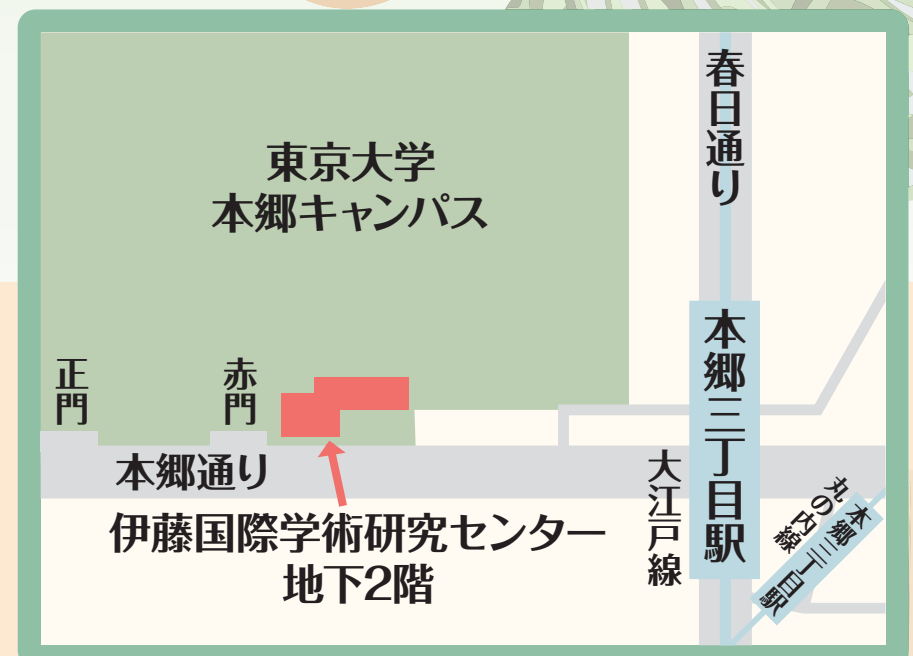
- シンポジウム3 「長期時間軸における生体変化と食品機能」

「出生前栄養環境がエピゲノムと健康に及ぼす影響」	佐藤 憲子 (東京医科歯科大学)
「母体腸内細菌叢と肥満・世代間連関」	木村 郁夫 (東京農工大学)
「液性記憶免疫応答を担うB細胞の分化とその選択機構」	伊勢 渉 (大阪大学)
「T細胞老化の代謝・エピゲノム調節による加齢関連疾患の制御」	山下 政克 (愛媛大学)

- 閉会の辞

- 大会参加費: 会員 一般 3,000円* / 学生 無料 非会員 一般 7,000円* / 学生 1,000円*
懇親会費: 一般 6,000円* / 学生 3,000円* 講演要旨集: 2,000円

* 事前登録時の金額、当日参加登録の場合は1000円割増 事前登録を推奨いたします



主催:  日本食品免疫学会

JAFI2017 大会ホームページ
<http://www.jafi.jp/conf/jafi2017/>

